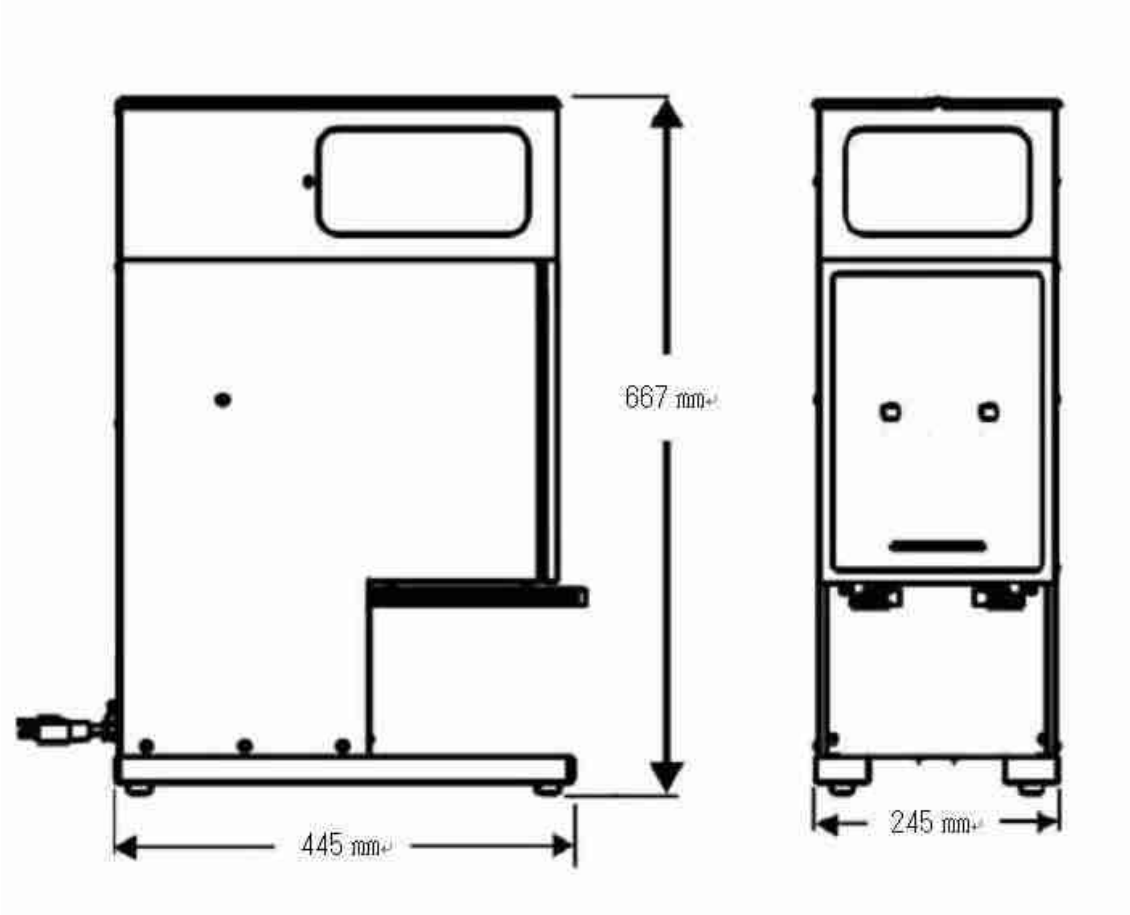
DG-1

取扱説明書

目　　次

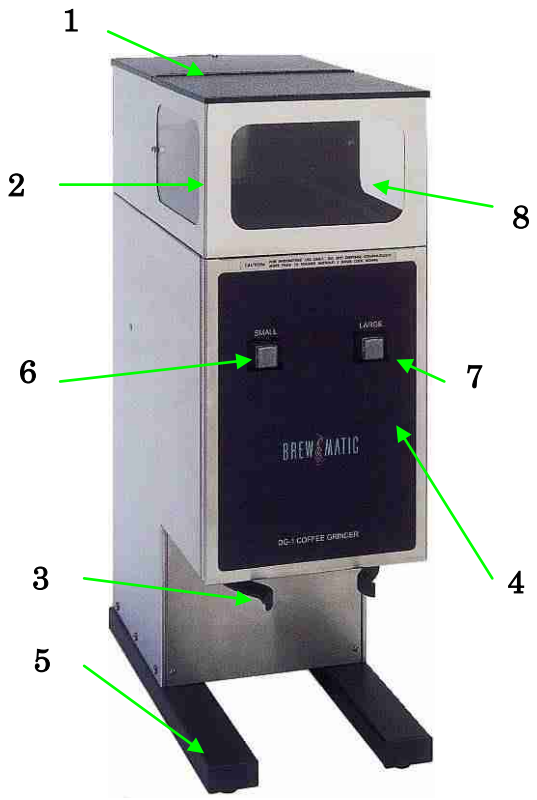
主な仕様・・・

主な仕様



機 種 名	DG-1 型
寸法（㎜）	W 245×D 445×H 667
定 格 電 圧	100V
消 費 電 力	680W 7A
ホッパー容量	6Kg1 基

各部の名称と動き



1. **トップカバー**
   ホッパーの蓋です。ホッパーにコーヒー豆を入れる時に開きます
2. **ホッパー**
   挽くコーヒー豆を入れる器です
3. **コーンアーム**
   ブルーイングコーンを固定するアーム
4. **前面パネル**
   タイマー調整や刃部分の清掃を行う時に開きます
5. **脚**

6. **スタートボタン（SMALL）**
   コーヒー豆を挽くスタートボタンです。

7. **スタートボタン（LARGE）**
   コーヒー豆を挽くスタートボタンです。

8. **ホッパーウインドウ**

ホッパー内のコーヒー豆残量が一目でわかります

使用方法

このグラインダーはドリップコーヒー専用のミルで、２種類の量の豆を挽くことができます。
（注意）　エスプレッソコーヒー用には使用できません。

１．電源コードを、100V コンセントに差し込みます。
２．マシン背面下部にある主電源スイッチ（右写真）を上に押し上げ電源を入れます。
３．トップカバーを開けて、コーヒー豆をホッパーの中に入れます。
４．ブルーイングコーンにフィルターペーパーを入れてコーンアームにはめ込みます。コーンアームはコーンを押し込めばスプリングで広がる様になっています。
５．前面パネルにあるスタートボタンのいずれかを押すと各設定量の豆が挽かれ、フィルターペーパーの中にたまり、自動的に止まります。

クリーニング

コーヒーグラインダーは継続して使用していると、豆を挽く刃の凹凸の間に微粉が貯まってきます。
そのままの状態で挽き続けていると、挽かれたコーヒー粉の粒度が均一にならず微粉が増える一方粗い粉が残ったりするようになり、挽かれる粉量が不安定になります。
このような状態でコーヒーを抽出すると、コーヒーを最良のバランスの取れた持ち味で仕上げることが出来ませんので**毎日１回の清掃**をして下さい。

クリーニング手順：

1. 電源コードをコンセントから抜いて下さい。
2. スイッチパネルのついた前面パネルを開きます。
   正面右側の止めネジ 2 本をゆるめ、
   パネルを手前に引けばドアの様に開きます。（右写真 1）

写真 1

3. パネルを開くと正面にグラインダー本体と本体上部に豆を抑えるストッパーが見えます。
   まず、ストッパーを手前に引き、豆が落ちてこないようにしてください。（右写真 2）

写真 2

4. 2 本の蝶ネジ 11 を外します。　固い場合はペンチで外します。

5. カッターカバー8 を静かに取り外します。　次に 4～7 までの部品を外します。

（注意）4～7 までの各部品は、図のように順番にはめ込まれているだけですから、バラバラに外しても大丈夫です。
しかし、落として無くさない様、気を付けてください。

6. カッター2 の固定刃（ボディ 1 に固定）及び回転刃（回転シャフト 4 に固定）と粉出口板バネをブラシで清掃します。

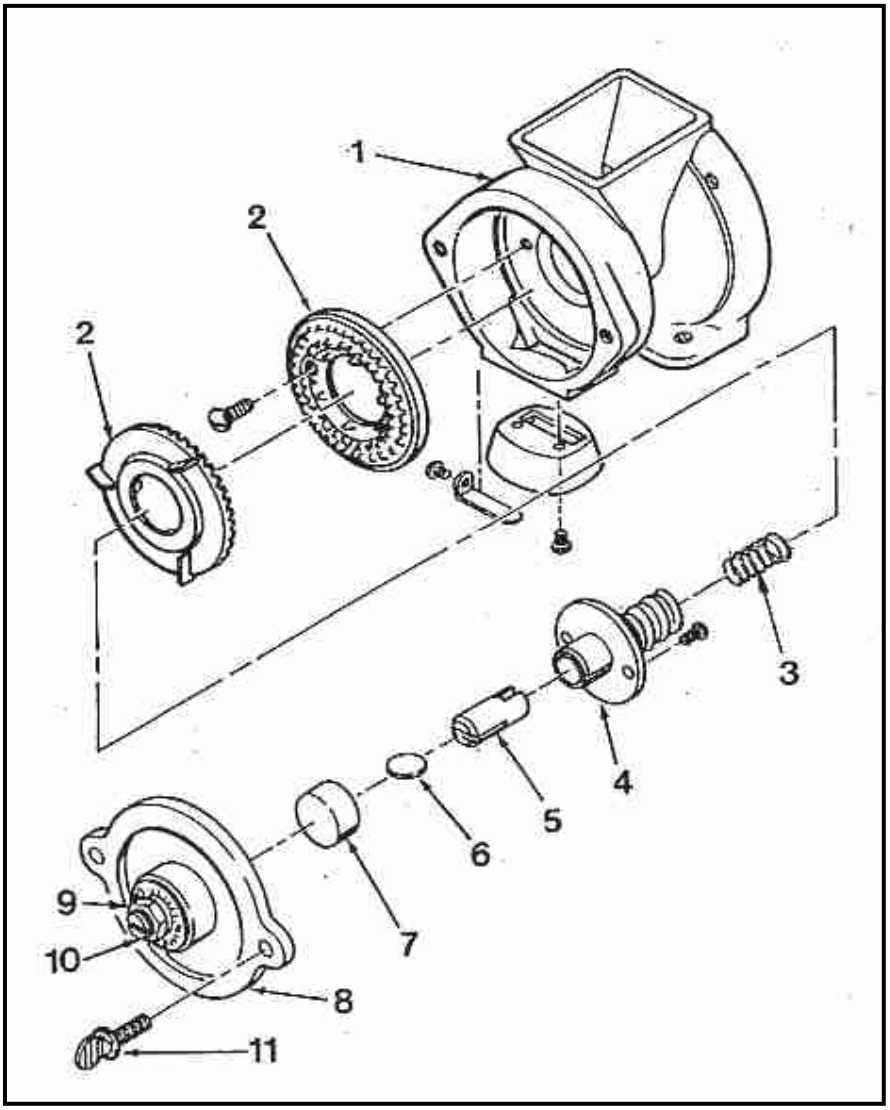
板バネ部 清掃前

板バネ部 清掃後

7. 清掃が終わったら、元通り組み立てます。その際、もし各部品がバラバラになっている場合は次の点に注意して下さい。
   a) スプリング 3 を飛ばさないように気を付けて下さい。
   b) 溝つきシャフト 5 を回転シャフト 4 の挿入口にきちんと奥まで入るように、少し回しながら入れます。(モーター軸と溝が噛み合うように)
   c) 溝つきシャフト 5 を回転シャフト 4 の切れ込みを合わせ、その間にコイン 6 を挿入してキャップ 7 をかぶせます。
   d) カッターカバー8 を元通りに取り付け、蝶ネジ 11 を締めます。
   この時、必要なら挽き目調整ネジ 10 を回して再調整して下さい。

最後に**手順 2.** で引いた豆ストッパーを押し込んで解除し、前面パネルを取り付け、
電源コードを差し込めば完了です。

グラインダー本体部分の分解図



挽き目調整方法

粉の挽き目調整は下記の方法で行います。

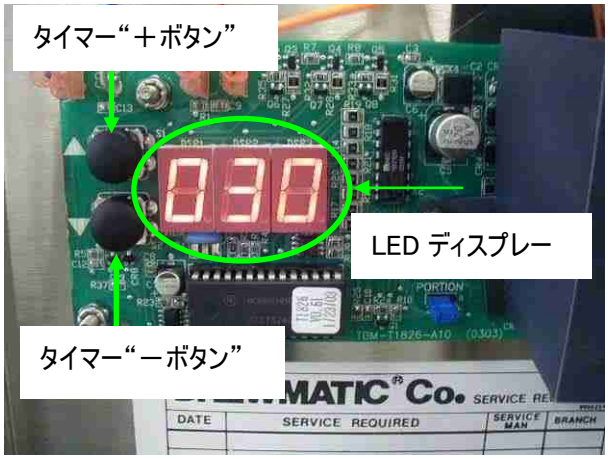
1. 前面パネルを外すと、グラインダーとモーターが見えます。

2. グラインダー軸の中央にある調節ネジ A を回すため、B のロックナットをゆるめます。
   調節ネジ A をードライバーで回して調節します。
   左へ回すと粉の挽き目は粗くなり、右に回すと細かくなります。
   実際に豆を少量入れて、挽き目をみながら少しずつ何回でも調整してください。

プログラミング

プログラミングは豆を挽く時間の調節を行います。

DG-1 専用 PCB
（前面パネル裏）



1．前面パネルを開きます。前面パネルの裏側に**右写真**のコントロールボードあります。LED ディスプレーの表示は作動回数を示します。

2．“＋ボタン”“－ボタン”どちらか押しますとディスプレーに“**Prg**”と表示されプログラムモードに入ります。“**Prg**”の表示が出ている間に前面パネルのスタートボタンの調整したい方を押すとディスプレーに現在設定されている挽き時間が表示されます。

3．粉量を増やす場合は＋ボタンを押して挽き時間を増やします。
粉量を減らす場合は－ボタンを押して挽き時間を減らします。

4．挽き時間を変更したらしばらくそのままにしておきますと変更数値を記憶します。

6．もう一度豆を挽き粉量の測定をします。粉量が合わない場合は、**1**．からの操作を繰り返してください。

スタートボタン

トラブルシューティング

症状	処置
電源が入らない	・ 電源コードがコンセントに接続されているか確認ください。 ・ コンセントに電気が来ているか確認してください。 ・ マシン背面のスイッチが上（ON）になっているか確認ください。 ・ マシン背面のリセットスイッチが作動していないか確認してください。 ・ 電源側のブレーカーが作動していないか確認してください。
コーヒー粉が出ない	・ ホッパーに豆が入っているか確認してください。 ・ シャーディスクが破損していないか確認してください。 ・ グラインダー内部にコーヒー豆が詰まっていないか確認してください。
コーヒー粉の粒度が一定しない	・ コーヒー豆が古い場合は新鮮なコーヒー豆と入れ替えてください。 ・ コーヒー粉出口の清掃を行ってください。 ・ コーヒー粉の粒度調整を行ってください。 ・ グラインダーの刃が磨耗していないか確認してください。
コーヒー豆を挽く時に金属音がする	・ 粒度が細かすぎて刃と刃が当たっていないか確認してください。 ・ グラインダー内部の外壁に刃が当たっていないか確認してください。
コーヒー豆を挽いている途中にモーターが止まってしまう	・ 長い時間連続で使用すると、モーターがオーバーヒートしますので約 15 分モーターを冷却してください。

Memo

ブルーマチックジャパン株式会社
本社：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東 4 丁目 5 番 13 号
TEL.045-947-0800（代表）
大阪（営）：大阪府西区阿波座 1-9-9 1F
TEL.06-6531-1333（代表）